



雑草は  
圃場ごとに  
防除する時代へ。

イノーバワン<sup>®</sup>  
フロアブル



1  
ONE

希釈液散布



製品のより詳しい  
情報はこちら▶



水田雑草  
テラーメイド防除<sup>™</sup>  
あなたの圃場に、適剤適所の防除を。

©イノーバはバイエルグループの登録商標  
TM:テラーメイド防除は商標出願中

# イノーバワン® フロアブル

農林水産省登録：第 24562 号  
 有効成分：フェントラザミド…27.0% 除草剤分類 15  
 性状：類白色水和性粘稠懸濁液体  
 毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

**1** ノビエに対して高い除草効果と長期残効性を示します。

希釈液散布

**2** 発生する雑草の草種・発生量・発生時期に合わせて、最適な除草剤を組み合わせ使用でき、効率的な防除が可能です。

## マイティワン® フロアブル カウンシルワン® フロアブル

こちらの2剤と組み合わせ使用することができます。

### ■適用雑草と使用方法

2023年5月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量(ml/10a)		使用方法	使用回数*
			薬量	希釈水量		
移植水稲	一年生雑草	移植直後～ノビエ1葉期 ただし、 移植後30日まで	33～100	200～500	湛水散布 または 無人航空機による 滴下	本剤：1回  フェントラザミド：1回
		移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	100			

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

### 注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきって下さい。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
- 散布液調製後は、できるだけ速やかに散布して下さい。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失ないように散布して下さい。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布して下さい。
- 無人航空機で滴下する場合は、次の注意を守って下さい。
  - ① 滴下は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
  - ② 滴下に当っては散布装置のノズルを取り外して下さい。
  - ③ 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他の装置の十分な点検を行って下さい。
  - ④ 薬液の飛散によって適用作物以外の作物に影響を及ぼすおそれがあるので、周辺作物に薬液がかからないように風の影響などを十分考慮して滴下して下さい。
  - ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。
  - ⑥ 薬液滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理して下さい。
  - ⑦ 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬液散布には使用しないで下さい。
- 本剤処理後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、処理後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行って下さい。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行って下さい。
- 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけて下さい。
  - ① 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
  - ② 軟弱苗を移植した水田
  - ③ 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさけて下さい。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないで下さい。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用するには十分に注意して下さい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤飲などのないよう注意して下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 薬液調製時および使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
- 無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意して下さい。
- 散布後は水管理に注意して下さい。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきって下さい。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管して下さい。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00,13:00～17:00  
 土日祝日および会社休日を除く

F-3291 23.05.jeki